

令和2年度工事

部長

課長

担当課長補佐

精査主任

設計

## 淀江・宇田川こども園（仮称）新築建築主体工事

工事場所 : 米子市淀江町淀江2番地207ほか

工期 : 契約日～ 令和4年2月1日

金 : 円

( 工事価格 : 円 )

( うち消費税 : 円 )

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		監理事務所補正あり
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		契約保証費計上
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		



名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
一般工事（鉄骨工事・木工事除く）	1	式		
一般工事（鉄骨工事）	1	式		
一般工事（木工事）	1	式		
その他工事	1	式		
計				

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
本体棟		1		式					
外倉庫棟		1		式					
駐輪・駐車場棟		1		式					
プール棟		1		式					
砂場棟		1		式					
プロパン置場		1		式					
外部階段		1		式					
外構		1		式					
遊具		1		式					
	計								

一般工事（鉄骨工事）									
名	称	数	量	单	位	金	額	備	考
本体棟		1		式					
駐輪・駐車場棟		1		式					
計									

一般工事 (木工事)									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
本体棟		1		式					
外倉庫棟		1		式					
	計								

その他工事									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
外構工事		1		式					
計									



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
本体棟	直接仮設工事	1	式		
本体棟	土工事	1	式		
本体棟	地業工事	1	式		
本体棟	鉄筋工事	1	式		
本体棟	コンクリート工事	1	式		
本体棟	型枠工事	1	式		
本体棟	防水工事・外部（こども園）	1	式		
本体棟	防水工事・外部（支援センター）	1	式		
本体棟	防水工事・内部（こども園）	1	式		
本体棟	防水工事・内部（支援センター）	1	式		
本体棟	石工事（こども園）	1	式		
本体棟	石工事（支援センター）	1	式		
本体棟	タイル工事・外部（こども園）	1	式		
本体棟	タイル工事・内部（こども園）	1	式		
本体棟	タイル工事・内部（支援センター）	1	式		
本体棟	木工事（こども園）	1	式		
本体棟	木工事（支援センター）	1	式		
本体棟	屋根及びとい工事（こども園）	1	式		
本体棟	屋根及びとい工事（支援センター）	1	式		
本体棟	金属工事・外部（こども園）	1	式		

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
本体棟	金属工事・外部（支援センター）	1	式		
本体棟	金属工事・内部（こども園）	1	式		
本体棟	金属工事・内部（支援センター）	1	式		
本体棟	左官工事・外部（こども園）	1	式		
本体棟	左官工事・外部（支援センター）	1	式		
本体棟	左官工事・内部（こども園）	1	式		
本体棟	左官工事・内部（支援センター）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・アルミ製（こども園）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・アルミ製（支援センター）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・ホーロー（こども園）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・ホーロー（支援センター）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・トップライト（こども園）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・トップライト（支援センター）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・スライディングウォール（こども園）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・鋼製（こども園）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・鋼製（支援センター）	1	式		
本体棟	金属製建具工事・ステンレス製（こども園）	1	式		
本体棟	トレスクリーン工事（こども園）	1	式		
本体棟	ガラス工事（こども園）	1	式		
本体棟	ガラス工事（支援センター）	1	式		

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
本体棟	防煙垂れ壁工事（こども園）	1	式		
本体棟	木製建具工事（こども園）	1	式		
本体棟	木製建具工事（支援センター）	1	式		
本体棟	塗装工事・外部（こども園）	1	式		
本体棟	塗装工事・外部（支援センター）	1	式		
本体棟	塗装工事・内部（こども園）	1	式		
本体棟	塗装工事・内部（支援センター）	1	式		
本体棟	内外装工事・外部（こども園）	1	式		
本体棟	内外装工事・外部（支援センター）	1	式		
本体棟	内外装工事・内部（こども園）	1	式		
本体棟	内外装工事・内部（支援センター）	1	式		
本体棟	ユニット及びその他工事・外部（こども園）	1	式		
本体棟	ユニット及びその他工事・外部（支援センター）	1	式		
本体棟	ユニット及びその他工事・内部（こども園）	1	式		
本体棟	ユニット及びその他工事・内部（支援センター）	1	式		
本体棟	ユニット及びその他工事・家具（こども園）	1	式		
本体棟	ユニット及びその他工事・家具（支援センター）	1	式		
計					
外倉庫棟	直接仮設工事	1	式		
外倉庫棟	土工事	1	式		

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外倉庫棟	地業工事	1	式		
外倉庫棟	鉄筋工事	1	式		
外倉庫棟	コンクリート工事	1	式		
外倉庫棟	型枠工事	1	式		
外倉庫棟	防水工事	1	式		
外倉庫棟	木工事	1	式		
外倉庫棟	屋根及びとい工事	1	式		
外倉庫棟	左官工事	1	式		
外倉庫棟	建具工事	1	式		
外倉庫棟	塗装工事	1	式		
外倉庫棟	内外装工事・外部	1	式		
外倉庫棟	内外装工事・内部	1	式		
計					
駐輪・駐車場棟	直接仮設工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	土工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	地業工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	鉄筋工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	コンクリート工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	型枠工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	木工事	1	式		

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
駐輪・駐車場棟	防水工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	屋根及びとい工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	金属工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	左官工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	建具工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	塗装工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	内外装工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	ユニット及びその他工事	1	式		
計					
プール棟	直接仮設工事	1	式		
プール棟	土工事	1	式		
プール棟	地業工事	1	式		
プール棟	鉄筋工事	1	式		
プール棟	コンクリート工事	1	式		
プール棟	型枠工事	1	式		
プール棟	プール上屋工事	1	式		
プール棟	左官工事	1	式		
プール棟	内外装工事	1	式		
プール棟	プール	1	式		
計					

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
砂場棟	直接仮設工事	1	式		
砂場棟	土工事	1	式		
砂場棟	地業工事	1	式		
砂場棟	鉄筋工事	1	式		
砂場棟	コンクリート工事	1	式		
砂場棟	型枠工事	1	式		
砂場棟	上屋工事	1	式		
計					
プロパン置場	直接仮設工事	1	式		
プロパン置場	土工事	1	式		
プロパン置場	地業工事	1	式		
プロパン置場	鉄筋工事	1	式		
プロパン置場	コンクリート工事	1	式		
プロパン置場	型枠工事	1	式		
プロパン置場	屋根及びびとい工事	1	式		
プロパン置場	左官工事	1	式		
プロパン置場	ユニット及びその他工事	1	式		
計					
外部階段	直接仮設工事	1	式		
外部階段	土工事	1	式		

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外部階段	地業工事	1	式		
外部階段	鉄筋工事	1	式		
外部階段	コンクリート工事	1	式		
外部階段	型枠工事	1	式		
外部階段	タイル工事	1	式		
外部階段	金属工事	1	式		
外部階段	左官工事	1	式		
外部階段	塗装工事	1	式		
計					
外構	囲障工事	1	式		
外構	構内舗装（一般工事）	1	式		
計					
遊具	遊具設置工事	1	式		
計					

一般工事（鉄骨工事）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
本体棟	鋼材費	1	式		
本体棟	施工費	1	式		
本体棟	付帯工事	1	式		
本体棟	安全架設費	1	式		
計					
駐輪・駐車場棟	鋼材費	1	式		
駐輪・駐車場棟	施工費	1	式		
駐輪・駐車場棟	付帯工事	1	式		
駐輪・駐車場棟	安全架設費	1	式		
計					



一般工事（木工事）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
本体棟	材料費	1	式		
本体棟	施工費	1	式		
計					
外倉庫棟	材料費	1	式		
外倉庫棟	施工費	1	式		
計					

その他工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外構工事	構内舗装(その他工事)	1	式		
外構工事	植栽・造園工事	1	式		
計					

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟			直接仮設工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方	一般	1,428	m <sup>2</sup>			
墨出し	一般 S造 地上階	1,428	m <sup>2</sup>			
養生	一般 S造 地上階	1,428	m <sup>2</sup>			
整理清掃 後片付け	一般 S造 地上階	1,428	m <sup>2</sup>			
くさび緊結足場 （手すり先行方式） 本体棟	幅 900 12m未満 運搬共	1,398	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 運搬共	1,611	m <sup>2</sup>			
移動足場 本体棟	H=5.4 運搬共	7	台			
ネット状養生シート張り 本体棟	防災Ⅱ類	733	m <sup>2</sup>			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		土工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	1,003	m <sup>3</sup>			
床付け	つぼ, 布掘り	588	m <sup>2</sup>			
埋戻し(B種)	発生土 改良残土共	544	m <sup>3</sup>			
盛土(B種)	発生土	343	m <sup>3</sup>			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
発生土処分	外構工事で計上					
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		地業工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地業						
砂利地業	再生クラッシュラン	200	m <sup>3</sup>			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	1,322	m <sup>2</sup>			
土間下断熱材敷き	3種b 厚さ25mm ポリスチレンフォーム OA70ア-部 こども園のみ	75	m <sup>2</sup>			
小計	地業					
深層混合処理工法						
(基礎下)						
施工費	空堀部	123	m			
施工費	改良部	316	m			
材料費	固化材	106	t			
現場管理費		1	式			
機械運搬費		1	式			
機械組立解体費		1	回			
室内配合試験費	試料土採取含む	3	回			
六価クロム溶出試験		12	検体			
一軸圧縮試験費	頭部コア：2set 深度コア：7set	18	set			
頭部コア採取費	コアカッター	2	か所			
頭部コア採取費	モールド	2	か所			
深度コア採取費	全長ボ-リング	2	か所			
深度コア採取費	モールド	2	か所			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		地業工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(土間下)						
施工費	空堀部	48.3	m			
施工費	改良部	619	m			
材料費	固化材	50.3	t			
現場管理費		1	式			
小計	深層混合処理工法					
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		鉄筋工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形鉄筋	D10 SD295A	36	t			
異形鉄筋	D13 SD295A	12.4	t			
異形鉄筋	D16 SD295A	3.4	t			
異形鉄筋	D19 SD345	2.9	t			
異形鉄筋	D22 SD345	15.8	t			
異形鉄筋	D25 SD345	1.1	t			
鉄筋スクラップ 控除		1.9	t			
鉄筋加工組立	S造	68.8	t			
鉄筋運搬費	10 t 車 30km程度	68.8	t			
鉄筋が <sup>+</sup> ス圧接	D19 -D19	47	か所			
鉄筋が <sup>+</sup> ス圧接	D22 -D22	563	か所			
鉄筋が <sup>+</sup> ス圧接	D22 -D25	9	か所			
鉄筋が <sup>+</sup> ス圧接	D25 -D25	15	か所			
梁貫通孔補強	100 φ程度 既製品 材工共	25	か所			
梁貫通孔補強	150 φ程度 既製品 材工共	8	か所			
梁貫通孔補強	175 φ程度 既製品 材工共	39	か所			
溶接金網敷	径6.0 150×150 こども園のみ	463	m <sup>2</sup>			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		コンクリート工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
生コンクリート	Fc=18 SL=15 捨てコン	29.5	m3			
生コンクリート	Fc=24+3 SL=15 基礎、基礎梁コン	340	m3			
生コンクリート	Fc=24+3 SL=15 躯体コン	46.3	m3			
生コンクリート	Fc=18+3 SL=15 土間コン	204	m3			
生コンクリート	Fc=18 SL=15 増打(嵩上)コン こども園のみ	26	m3			
生コンクリート	Fc=18+3 SL=15 デッキコン こども園のみ	36.6	m3			
生コンクリート	Fc=21+3 SL=15 小型構造物	5.9	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 30m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	29.5	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 100m3/回以上 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	340	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 50m3/回未満 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	26.6	m3			
コンクリート打設手間	S造スラブ ポンプ打設 50m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	19.7	m3			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	204	m3			
コンクリート打設手間	増打(嵩上)コンクリート ポンプ打設 50m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	26	m3			
コンクリート打設手間	デッキコンクリート ポンプ打設 50m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	36.6	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 - -	5.9	m3			
コンクリートポンプ 圧送	50m3/回を超える 基本料金別途加算	683	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	50m3/回を超える	2	回			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	138	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	50m3/回以下	5	回			
計						



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		型枠工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メッシュ型枠 (運搬費込み)		1,409	m <sup>2</sup>			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	218	m <sup>2</sup>			
型枠	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	507	m <sup>2</sup>			
型枠	普通合板型枠 曲面 足洗い -	3.5	m <sup>2</sup>			
型枠	円柱型枠B種 地上軸部	7.1	m <sup>2</sup>			
型枠	円柱型枠 基礎部	85.9	m <sup>2</sup>			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	418	m <sup>2</sup>			
型枠目地棒	化粧目地 幅20 × 深さ10程度	26.8	m			
型枠運搬費	10 t 車 30km程度 往復	821	m <sup>2</sup>			
型枠処分費		274	m <sup>2</sup>			
床版 ポリスチレンフォーム板	厚さ25 打込み 2種b 床下ビット こども園のみ	145	m <sup>2</sup>			
止水材		106	m			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		防水工事・外部（こども園）		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜防水	X-1 絶縁工法 ウレタン系 平面 表面塗装あり こども園のみ	250	m <sup>2</sup>			
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン系 立上り 表面塗装あり こども園のみ	78.2	m <sup>2</sup>			
脱気筒	ステンレス製	6	か所			
合成高分子系 ルーフィングシート防水	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし - シール材共	364	m <sup>2</sup>			
脱気盤		18	か所			
ルーフトレ	パルコー用 塗膜防水用 SGP 100A 張掛け幅 100 こども園のみ	7	か所			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 20×10 箱種笠木廻り	134	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	882	m			
シーリング	一般部 ホリウレタン系 (PU-2) 10×10	18	m			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟	防水工事・外部（支援センター）			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
合成高分子系 ルフィングシート防水	S-M2 機械固定工法 平緋・立上り 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし シート材共	36	m <sup>2</sup>			
脱気盤		2	か所			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10 箱種笠木廻り	13.3	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	95.1	m			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟	防水工事・内部（こども園）			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	66.4	m			
計						



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟			石工事（こども園）	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
框 花こう岩	t=60 本磨き W=100 テーパー加工	11.7	m			
幅木 花こう岩	t=20 本磨き H=80 こども園のみ	15.6	m			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		石工事（支援センター）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
框 花こう岩	t=60 本磨き W=100 テーパー加工	2.5	m			
幅木 花こう岩	t=20 本磨き H=20 支援センターのみ	2	m			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟			タイル工事・外部（こども園）	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床タイル張り	一般床タイル張 I類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途	1.4	m <sup>2</sup>			
床タイル (階段用タイル張り)	垂れ付き段鼻 I類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途 こども園のみ	1.2	m			
計						



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		タイル工事・内部（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床タイル張り	一般床タイル張 I類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途	27.3	m <sup>2</sup>			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字タイル I類 無ゆう 300角 こども園のみ	1.4	m <sup>2</sup>			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟			タイル工事・内部（支援センター）	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床タイル張り	一般床タイル張 I類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途 内部	5.4	m <sup>2</sup>			
計						

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
造作材 【材料費】						
広小舞・淀	杉 40×120 浸透性防腐処理	0.73	m3			
広小舞・淀	杉 40×100 浸透性防腐処理	0.63	m3			
横胴縁	杉 40×45 @303 外壁面	2.7	m3			
横胴縁	杉 12×60 @303 間仕切壁(ボート一重貼部)	1.76	m3			
床 しな合板	t=12 押入 こども園のみ	6	枚			
壁 しな合板	t=5.5 目透かし リソ備品庫	23	枚			
壁 ラワン合板	t=5.5 目透かし 小屋裏	120	枚			
壁 ラワン合板	t=5.5 下地張り	169	枚			
天井 しな合板	t=5.5 目透かし 遊戯室一部 こども園のみ	17	枚			
天井 ラワン合板	t=9 目透かし 小屋裏	42	枚			
床下地 耐水合板	普通合板 1類 t=12 フロリング部	605	枚			
際合板	普通合板 1類 t=12 床暖房周囲部	14	枚			
床下地 耐水合板	普通合板 1類 t=9 下貼 t=12 タイカベット部	31	枚			
床下地 耐水合板	普通合板 1類 t=12 下貼 t=12 ビニール床シート部	50	枚			
床 ラワン合板	t=12 二重張り 小屋裏	16	枚			
幅木	杉 12×65 H=60 防火上主要な間仕切り壁部	0.14	m3			
幅木	杉 15×65 H=60	0.06	m3			
幅木	杉 24×65 H=60	0.25	m3			
畳寄せ	杉 15×60 こども園のみ	0.02	m3			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
腰壁	杉縁甲板（本実） t=9	2.18	m3			
腰 見切り縁	杉 30×45	0.43	m3			
腰 出隅見切り縁	杉 35×35	0.05	m3			
腰 縦見切り縁	杉 30×45	0.1	m			
壁下地 耐水合板	普通合板 1類 t=12	27	枚			
天井	杉縁甲板 t=9	0.27	m3			
天井下地 ワン合板	t=9	21	枚			
廻り縁	杉 30×30	0.09	m3			
化粧棟木(竿縁)	杉 105×180 こども園のみ	0.32	m3			
化粧母屋(竿縁)	杉 105×120 こども園のみ	1.59	m3			
上下見切り縁 (幕板)	杉 30×150 こども園のみ	0.14	m3			
化粧付柱	杉 30×105 こども園のみ	0.07	m3			
付鴨居(長押)	桧 15×45 こども園のみ	0.18	m3			
木製建具枠	杉 105×45	0.93	m3			
木製建具枠	杉 175×45	0.05	m3			
木製建具枠	杉 180×30	0.09	m3			
木製建具枠	杉 105×30	0.04	m3			
額縁(アルミ製建具)	杉 140×25	1.9	m3			
額縁	杉 45×30	0.89	m3			
額縁	杉 45×60 通風用扉(廊下)部 こども園のみ	0.02	m3			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
開口枠	杉 175×30	0.12	m3			
戸当り	杉 21×25	0.03	m3			
押え縁	杉 21×25	0.01	m3			
中鴨居	杉 105×65 1歳、0歳児保育室(外部)通風用扉 こども園のみ	0.1	m3			
鴨居	杉 175×30	0.05	m3			
鴨居	杉 105×45	0.48	m3			
敷居(欄間)	桧 105×35	0.02	m3			
敷居	桧 90×21	0.04	m3			
敷居	桧 175×30	0.04	m3			
敷居	桧 105×45	0.35	m3			
敷居	桧 60×45	0.04	m3			
照明ボックス棧	杉 45×45 絵本コーナー R加工 こども園のみ	0.06	m3			
床見切り縁	桧 50×100 畳周囲	0.28	m3			
天井ルーバー	杉 30×120 こども園のみ	0.65	m3			
同上 受け木	杉 60×60 こども園のみ	0.07	m3			
小計	【材料費】					
造作材	【施工費】					
広小舞・淀	杉 40×120 浸透性防腐処理	153	m			
広小舞・淀	杉 40×100 浸透性防腐処理	158	m			
横胴縁	杉	961	m <sup>2</sup>			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床 しな合板	押入 こども園のみ	7.9	m <sup>2</sup>			
壁 しな合板	リネ備品庫	31.5	m <sup>2</sup>			
壁 ラワン合板	小屋裏	172	m <sup>2</sup>			
壁 ラワン合板		242	m <sup>2</sup>			
天井 しな合板	遊戯室一部 こども園のみ	23.3	m <sup>2</sup>			
天井 ラワン合板	小屋裏	59.7	m <sup>2</sup>			
床下地 耐水合板	フローリング部、タイルカーペット部、ビニル床シート部	985	m <sup>2</sup>			
際合板	床暖房周囲部	20	m <sup>2</sup>			
床 ラワン合板	小屋裏	22.3	m <sup>2</sup>			
幅木		367	m			
畳寄せ	こども園のみ	18	m			
腰壁	杉縁甲板（本実）t=9	242	m <sup>2</sup>			
腰 見切り縁		417	m			
壁下地 耐水合板		38.2	m <sup>2</sup>			
天井縁甲板		29.5	m <sup>2</sup>			
天井下地 ラワン合板		29.5	m <sup>2</sup>			
廻り縁		96	m			
化粧棟木(竿縁)	こども園のみ	16	m			
化粧母屋(竿縁)	こども園のみ	120	m			
上下見切り縁 (幕板)	こども園のみ	30	m			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
化粧付柱	こども園のみ	19.8	m			
付鴨居(長押)		255	m			
木製建具枠	杉 105*45	170	m			
木製建具枠	杉 175*45	5.4	m			
木製建具枠	杉 180*30	14.6	m			
木製建具枠	杉 105*30	11.8	m			
額縁（アルミ製建具）	杉 140*25	471	m			
額縁	杉 45*30	568	m			
額縁	杉 45×60 通風用扉(廊下)部 こども園のみ	5.4	m			
開口枠		20	m			
中鴨居	1歳、0歳児保育室(外部)通風用扉 こども園のみ	12.6	m			
鴨居		95.2	m			
敷居		105	m			
照明ボックス	杉 45×45 絵本コーナー R加工 こども園のみ	28.3	m			
床見切り縁		48.3	m			
天井ルーバー	こども園のみ	172	m			
同上 受け木	こども園のみ	18.6	m			
小計	【施工費】					
造作材 【材工共】						
照明ボックス	杉 t=24 コ型 100×100H 廊下 こども園のみ	22	m			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
カーテンボックス	杉 t=27 コ型 150×100H	65.2	m			
カーテンボックス	杉 t=27 L型 130×120H 遊戯室(上部) こども園のみ	12.9	m			
カーテンボックス	杉 t=27 コ型 130×120H 遊戯室 こども園のみ	12.9	m			
カーテンボックス	杉 t=27 コ型 150×150H 遊戯室ステージ面 こども園のみ	11	m			
カーテンボックス	杉 t=27 I型 130×100H 保育室上部突出し窓 こども園のみ	18.8	m			
框	杉 突板集成材 60×100 職員休憩室、厨房更衣室 こども園のみ	6.3	m			
押入 棚板、枕棚	框、受材共 1間用 既製品 こども園のみ	4	か所			
雑巾摺り	米つが 15×15 こども園のみ	45.1	m			
壁 有孔しな合板	t=5.5 こども園のみ	1.3	m <sup>2</sup>			
化粧棧	杉 21×24 こども園のみ	22	m			
地袋天板	松練付け合板7ツシユ(べた芯)塗装品 t=30 W=355 L=3,150	1	枚			
地袋内しな合板	しな合板 t=5.5	2.5	m <sup>2</sup>			
地袋敷居	桧 45×90	3.1	m			
小計	【材工共】					
計						



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（支援センター）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
造作材 【材料費】						
広小舞・淀	杉 40×120 浸透性防腐処理	0.07	m3			
広小舞・淀	杉 40×100 浸透性防腐処理	0.06	m3			
横胴縁	杉 40×45 @303 外壁面	0.21	m3			
横胴縁	杉 12×60 @303 間仕切壁(ホト一重貼部)	0.46	m3			
壁 ラワン合板	t=5.5 目透かし 小屋裏	31	枚			
壁 ラワン合板	t=5.5 下地張り	13	枚			
天井 ラワン合板	t=9 目透かし 小屋裏	29	枚			
床下地 耐水合板	普通合板 1類 t=12 フロリング部	53	枚			
床下地 耐水合板	普通合板 1類 t=9 下貼 t=12 タイカベット部	9	枚			
床下地 耐水合板	普通合板 1類 t=12 下貼 t=12 ビニル床シート部	10	枚			
床 ラワン合板	t=12 二重張り 小屋裏	29	枚			
幅木	杉 12×65 H=60 防火上主要な間仕切り壁部	0.01	m3			
幅木	杉 24×65 H=60	0.02	m3			
腰壁	杉縁甲板（本実） t=9	0.16	m3			
腰 見切り縁	杉 30×45	0.03	m3			
腰 出隅見切り縁	杉 35×35	0.01	m3			
腰 縦見切り縁	杉 30×45	0.02	m3			
壁下地 耐水合板	普通合板 1類 t=12	4	枚			
天井	杉縁甲板 t=9	0.06	m3			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（支援センター）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井下地	ラワン合板 t=9	5	枚			
廻り縁	杉 30×30	0.04	m3			
付鴨居(長押)	桧 15×45	0.02	m3			
木製建具枠	杉 105×45	0.1	m3			
木製建具枠	杉 175×45	0.07	m3			
木製建具枠	杉 180×30	0.06	m3			
木製建具枠	杉 105×30	0.06	m3			
額縁(アルミ製建具)	杉 140×25	0.2	m3			
額縁	杉 45×30	0.06	m3			
戸当り	杉 21×25	0.01	m3			
押え縁	杉 21×25	0.01	m3			
鴨居	杉 175×30	0.04	m3			
鴨居	杉 105×45	0.03	m3			
敷居	桧 105×45	0.02	m3			
敷居	桧 60×45	0.02	m			
床見切り縁	桧 50×100 畳周囲	0.09	m3			
小計	【材料費】					
造作材	【施工費】					
広小舞・淀	杉 40×120 浸透性防腐処理	15.1	m			
広小舞・淀	杉 40×100 浸透性防腐処理	15.6	m			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木工事（支援センター）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
横胴縁	杉	173	m <sup>2</sup>			
壁 ラワン合板	小屋裏	44.1	m <sup>2</sup>			
壁 ラワン合板		17.8	m <sup>2</sup>			
天井 ラワン合板	小屋裏	41.6	m <sup>2</sup>			
床下地 耐水合板	フローリング部、タイカベット部、ビニル床シート部	101	m <sup>2</sup>			
床 ラワン合板	小屋裏	41.6	m <sup>2</sup>			
幅木		17.6	m			
腰壁	杉縁甲板（本実）t=9	17.8	m <sup>2</sup>			
腰 見切り縁		43.3	m			
壁下地 耐水合板		4.9	m <sup>2</sup>			
天井縁甲板		6.1	m <sup>2</sup>			
天井下地 ラワン合板		6.1	m <sup>2</sup>			
廻り縁		46.8	m			
付鴨居（長押）		27.1	m			
木製建具枠	杉 105*45	19	m			
木製建具枠	杉 175*45	7.1	m			
木製建具枠	杉 180*30	9.9	m			
木製建具枠	杉 105*30	15.7	m			
額縁（アルミ製建具）	杉 140*25	48.7	m			
額縁	杉 45*30	38	m			



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		屋根及びびとい工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根 立平葺き	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 H=30内外 @360内外	1,461	m <sup>2</sup>			
ゴムアシート	t=1.2	1,461	m <sup>2</sup>			
耐火野地板	t=25	1,461	m <sup>2</sup>			
耐火野地板	t=20 庇、箱樋部 ゴムアシート共	438	m <sup>2</sup>			
唐草水切り	屋根同材	110	m			
ケラバ水切り	屋根同材	158	m			
雨押え	屋根同材 取付下地共 W=150 こども園のみ	11.5	m			
棟包み	屋根同材 取付下地共 W=150～180 水上部	42.5	m			
棟包み	屋根同材 取付下地共 W=300～360	61.4	m			
棟面戸	屋根同材加工	165	m			
谷樋	屋根同材加工	45.7	m			
荷揚げ費	運搬共	1	式			
壁見切り (オーバハンク)	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 加工 こども園のみ	41.1	m			
土台水切	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 加工	189	m			
防水立上り水切	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 加工	258	m			
トップライト廻り立上 り水切	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 加工 1,600×500×4枚 立平貼	1	か所			
雪止	L-50×50×4 亜鉛メッキ ステンレス取付金具(@360内外)共	223	m			
軒樋	硬質塩化ビニル既製角樋 前高120 ステンレス吊金具(@300)共	110	m			
堅樋	硬質塩化ビニル既製樋 φ100 ステンレス掴み金物(@1200)共	114	m			
堅樋	硬質塩化ビニル既製樋 φ75 ステンレス掴み金物(@1200)共	51.1	m			



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		屋根及びびとい工事（支援センター）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根 立平葺き	フッ素ガラガラルハリウム鋼板 t=0.4 H=30内外 @360内外	144	m <sup>2</sup>			
ゴムアシート	t=1.2	144	m <sup>2</sup>			
耐火野地板	t=25	144	m <sup>2</sup>			
耐火野地板	t=20 庇、箱樋部 ゴムアシート共	43.3	m <sup>2</sup>			
唐草水切り	屋根同材	10.9	m			
ケラバ水切り	屋根同材	15.6	m			
棟包み	屋根同材 取付下地共 W=150~180 水上部	4.2	m			
棟包み	屋根同材 取付下地共 W=300~360	6.1	m			
棟面戸	屋根同材加工	16.3	m			
谷樋	屋根同材加工	4.5	m			
荷揚げ費	運搬共	1	式			
土台水切	フッ素ガラガラルハリウム鋼板 t=0.5 加工	18.7	m			
防水立上り水切	フッ素ガラガラルハリウム鋼板 t=0.5 加工	25.5	m			
トップライト廻り立上り水切	フッ素ガラガラルハリウム鋼板 t=0.5 加工 1,600×500×4枚 立平貼	1	か所			
雪止	L-50×50×4 亜鉛メッキ ステンレス取付金具(@360内外)共	20	m			
軒樋	硬質塩化ビニール既製角樋 前高120 ステンレス吊金具(@300)共	10.9	m			
堅樋	硬質塩化ビニール既製樋 φ100 ステンレス掴み金物(@1200)共	11.3	m			
堅樋	硬質塩化ビニール既製樋 φ75 ステンレス掴み金物(@1200)共	5	m			
現場成型費		1	式			
底笠木	フッ素ガラガラルハリウム鋼板 t=0.5 加工 W=100 裏張ケイカ#6.0mm	13.3	m			





一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		金属工事・外部（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨天井地下	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし @300 インサート別途	686	m <sup>2</sup>			
アルミ笠木	W=375 カラー こども園のみ	45.3	m			
アルミ笠木 コーナー	W=375 カラー こども園のみ	2	か所			
アルミ笠木下 捨水切り	ガルバリウム鋼板 t=0.4 加工 こども園のみ	47.3	m			
外壁パネ	アルミ板 t=1.5 パネ加工 6,300×350 フッ素樹脂焼付塗装仕上 ケイカル板 t=6 裏貼共 こども園のみ	1	か所			
外壁パネ	アルミ板 t=1.5 パネ加工 6,300×800 フッ素樹脂焼付塗装仕上 ケイカル板 t=6 裏貼共 こども園のみ	1	か所			
底幕板パネ	アルミ板 t=1.5 パネ加工 幅440 フッ素樹脂焼付塗装仕上 こども園のみ	15	m			
妻飾り	アルミ板 t=1.5 パネ加工 フッ素樹脂焼付塗装仕上 ケイカル板 t=6 裏貼共 こども園のみ	3	か所			
アルミ既製庇	L=1,500 D=900 カラー 支持アームタイプ こども園のみ	1	か所			
アルミ既製庇	L=3,000 D=1,200 カラー 支持アームタイプ こども園のみ	1	か所			
アルミ既製庇	L=4,000 D=900 カラー 支持アームタイプ こども園のみ	1	か所			
アルミ既製庇	L=3,000 D=450 カラー こども園のみ	6	か所			
外部手洗いシンク	SUS304 t=1.5 加工 1,800×430×200H こども園のみ	3	か所			
物干金物	外壁取付 アーム式 アルミ製 カラー こども園のみ	3	組			
ステンレス製クレーチング ますふた	側溝用(枠付)細目ノスリッパ 蓋幅800×300 検収室前 洗い場 こども園のみ	1	組			
ステンレスフック	検収室前 洗い場 こども園のみ	1	個			
計						



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		金属工事・内部（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りなし @300	227	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	573	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	76.5	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300	460	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360	672	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	ビス付ハルガー、ビス付クリップ 加算 倉庫系(備品庫、収納庫等)は除く	1,179	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地 振止め補強加算	ふところ高1.5～3.0m	130	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内)	212	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300～500程度	28.9	m			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 150×150mm程度 ボート等切込み共	4	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 300×300mm程度 ボート等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	118	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 600×600mm程度 ボート等切込み共	10	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 300×1200mm程度 ボート等切込み共	15	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 900×900mm程度 ボート等切込み共	20	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1300×1300mm程度 ボート等切込み共	1	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	43	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共目地 450角	29	か所			
床点検口	屋内用 一般型充填用 アルミ製枠 ステンレス目地 鍵無 600角 こども園のみ	5	か所			
OAフロー-	H=100 支柱タイプ ウットコア スチール製 こども園のみ	38.3	m <sup>2</sup>			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		金属工事・内部（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床見切り	ステンズ製 t=3.6	15.4	m			
床見切り	ステンズ製 t=3.6 R加工 こども園のみ	2.5	m			
床見切り	ステンズ製 厚さ1.5 幅30 高さ100 加工 職員玄関 こども園のみ	1.7	m			
床見切り	ステンズ製 厚さ1.5 幅40 高さ50 加工 こどもトイレ こども園のみ	8.6	m			
ステンズ製幅木	高さ60 けい酸カルシウム板 t=6 裏貼共 こどもトイレ	35	m			
ステンズ製幅木	高さ70 けい酸カルシウム板 t=6 裏貼共 厨房各室 こども園のみ	63.2	m			
ステンズ製幅木	高さ80 けい酸カルシウム板 t=6 裏貼共 職員玄関 こども園のみ	2	m			
壁 ステンズ板	t=1.0 (SUS304) 磨き 下地けい酸カルシウム板 別途 こども園のみ	54.1	m <sup>2</sup>			
棚板 ステンズ板	t=1.0 (SUS304) 磨き こども園のみ	5	m <sup>2</sup>			
ステンズ水切り	SUS304 t=1.5 加工 幅140 けい酸カルシウム板 t=6 裏貼共 流し台ライニング天板	4.5	m			
ステンズ水切り	SUS304 t=1.5 加工 幅120 けい酸カルシウム板 t=6 裏貼共 厨房系ライニング天板 こども園のみ	2.1	m			
ステンズ製排水ビッド 溝	スリットタイプ 溝幅30(スリット幅20) L=5,000 HACCP対応 専用掃除具付 調理室	2	台			
ステンズ製排水ビッド 溝(ふた付)	溝幅100(蓋幅150) L=3,000 HACCP対応 洗浄室	1	台			
ステンズ製排水ビッド 溝(ふた付)	溝幅100(蓋幅150) L=1,000 HACCP対応 下処理室	1	台			
ステンズ製排水ビッド 溝(ふた付)	溝幅100(蓋幅150) L=1,000 HACCP対応 前室	1	台			
ステンズ製排水ビッド 溝(ふた付)	溝幅100(蓋幅150) L=1,000 HACCP対応 検収室	1	台			
ステンズ製排水ビッド ます(ふた付)	阻集カゴ、排水パイプ付 柵幅350角(蓋幅400角) HACCP対応 調理室、下処理室	3	台			
ステンズ製排水ビッド 下ます	阻集カゴ、排水パイプ付 柵幅350角 HACCP対応 洗浄、調理(回転釜下)	2	台			
ステンズ製グレーチング ますふた	側溝用(枠付)細目ノスリップ 蓋幅450×500×4枚 受枠900×1,000 洗浄室	1	組			
ステンズ製グレーチング ますふた	側溝用(枠付)細目ノスリップ 蓋幅450×425×1枚 受枠450×1,150 調理室(回転釜下)	1	組			



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		金属工事・内部（支援センター）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	102	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	11.8	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300	10.7	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360	152	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	ビス付ハブガー、ビス付クリップ 加算 倉庫系(備品庫、収納庫等)は除く	122	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内)	6.9	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	15	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 300×1200mm程度 ボート等切込み共	4	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 900×900mm程度 ボート等切込み共	4	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1300×1300mm程度 ボート等切込み共	1	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	1	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共目地 450角	7	か所			
床見切り	ステンレス製 t=3.6	25	m			
ステンレス製幅木	高さ60 けい酸カルシウム板 t=6 裏貼共	2.8	m			
ステンレス水切り	SUS304 t=1.5 加工 幅140 けい酸カルシウム板 t=6 裏貼共 流し台ライニング天板	1.5	m			
アルミ既製化粧ルーバー	40×40×40 1200角 落下防止ワイヤー共 居室トップライト部	1	か所			
消火器ボックス	半埋込型 鋼製 カラー品 蓋付	1	か所			
計						











一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		金属製建具工事・アルミニウム製（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW-1 外倒し窓	6,260× 600H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-1A 外倒し窓	6,260× 600H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-2 すべり出し窓	450× 450H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-2A すべり出し窓	450× 450H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-3 外倒し窓	1,870× 450H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-3A すべり出し窓	450× 450H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-3B すべり出し窓	450× 450H 取付、運搬、設計費等	4	か所			
AW-4 すべり出し窓	450× 450H 取付、運搬、設計費等共	10	か所			
AW-4A すべり出し窓	450× 450H 取付、運搬、設計費等共	4	か所			
AW-5 すべり出し窓	4,430× 450H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-6 突出し窓	2,930× 700H 取付、運搬、設計費等共	6	か所			
AW-7 引分け窓	3,760×1,520H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-8 FIX窓	990×1,030H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-9 たてすべり出し窓	450× 450H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-10 引違い窓	2,790× 800H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-10A 外倒し窓	900× 520H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	2	か所			
AW-10B たてすべり出し窓	450×1,360H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-11 引違い窓	1,800×1,360H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-12 FIX窓	1,660×1,860H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-13 引違い窓	970×1,030H 取付、運搬、設計費等共	2	か所			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		金属製建具工事・アルミニウム製（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW-14 たてすべり出し窓	450× 450H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	3	か所			
AW-15 たてすべり出し窓	450× 450H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-16 片引き窓	2,900×1,480H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-17 片引き窓	1,300×1,600H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-18 引分け窓	2,900×1,580H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-19 上げ下げ窓	450×1,060H 取付、運搬、設計費等共	2	か所			
AW-20 すべり出し窓	450× 450H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-20A すべり出し窓	450× 450H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AW-20B 引違い窓	6,260×1,560H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-1 引違いドア	6,260×2,500H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-2 引違いドア	1,900×2,500H 取付、運搬、設計費等共	2	か所			
AD-3 引違いドア	2,260×2,460H 取付、運搬、設計費等共	2	か所			
AD-4 引分けドア	3,760×2,460H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-5 引分けドア	4,270×2,500H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-6 片開きドア	820×2,560H 防火設備 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-7 親子ドア	1,200×2,480H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-8 引違いドア	1,800×2,560H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-9 片引きドア	1,000×1,960H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-10 引分けドア	4,320×2,000H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-10A 引分けドア	4,320×2,000H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		金属製建具工事・アルミニウム製（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AD-11 両開き自動ドア	1,100×2,460H 取付、運搬、設計費等共 エンジン装置共	2	か所			
AD-12 片引きドア	900×2,000H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-13 片引きドア	720×2,000H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-14 引違いドア	1,680×2,000H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-15 片引きドア	785×2,000H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-16 引分けドア	4,310×2,600H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-16A 引分けドア	4,310×2,550H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-17 片引きドア	870×1,900H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AD-18 片開きガラスドア	750×1,960H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
ADW-1 引分けドア・窓	7,270×2,500H 取付、運搬、設計費等共	2	か所			
ADW-2 引違いドア・窓	7,270×2,500H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
ADW-3 引分けドア・窓	5,670×2,500H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
ADW-4 引違いドア・窓	3,670×2,500H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
ADW-5 引違いドア・窓	3,670×2,500H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
ADW-6 引違いドア・窓	4,670×2,500H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
ADW-7 引違いドア・窓	3,670×2,500H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AG-1 ガラス	3,000× 800H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
AG-2 ガラス	1,800× 800H 取付、運搬、設計費等共	2	か所			
AD-41 片開きドア	800×1,940H 取付、運搬、設計費等共	1	か所			
計						























一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		ガラス工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
複層ガラス	Low-E 強化4 + A6 + 透明3 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	16.3	㎡			
複層ガラス	Low-E 強化4 + A6 + 透明5 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	4.6	㎡			
複層ガラス	Low-E 強化4 + A6 + 型板4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.8	㎡			
複層ガラス	Low-E 強化5 + A6 + 強化5 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	61.9	㎡			
複層ガラス	Low-E 強化5 + A6 + 型板6 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	6.4	㎡			
複層ガラス	Low-E 強化4 + A6 + 強化4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	90	㎡			
複層ガラス	Low-E 透明5 + A6 + 網入型板6.8 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	11.7	㎡			
複層ガラス	Low-E 透明5 + A6 + 網入磨き6.8 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	10	㎡			
複層ガラス	強化4 + A6 + 強化4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.6	㎡			
複層ガラス	透明5 + A6 + 網入型板6.8 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.7	㎡			
複層ガラス	強化5 + A6 + 強化5 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	3	㎡			
複層ガラス	強化6 + A6 + 強化6 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	10	㎡			
強化ガラス	厚さ 6mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	14.4	㎡			
強化ガラス	厚さ 5mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	67.7	㎡			
強化ガラス	厚さ 4mm(透明)特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	7.1	㎡			
強化ガラス	厚さ 4mm(型板)特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	24.7	㎡			
網入型板ガラス	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ガラスとめ材別途 清掃別途	2.4	㎡			
型板ガラス	厚さ4 特寸 2.18㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	2.6	㎡			
アクリル板	厚さ4 300×400 ガラスとめ材別途 清掃別途	2	枚			
アクリル板	厚さ5 450×450 ガラスとめ材別途 清掃別途	4	枚			





一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		ガラス工事（支援センター）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
複層ガラス	Low-E 強化4 + A6 + 型板4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.7	㎡			
複層ガラス	Low-E 強化5 + A6 + 強化5 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	13.7	㎡			
複層ガラス	Low-E 強化4 + A6 + 強化4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	14.4	㎡			
複層ガラス	透明5 + A6 + 網入型板6.8 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.7	㎡			
強化ガラス	厚さ 5mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	3.1	㎡			
強化ガラス	厚さ 4mm(型板)特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.6	㎡			
アクリル板	厚さ3(ポスト)150角以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	38	枚			
ガラス清掃	両面	42.6	㎡			
ガラスとめ(シーリング)	シリコン 1成分形 SR-1 両面	207	m			
飛散防止フィルム		9	㎡			
運搬費		42.6	㎡			
光触媒コーティング		13.7	㎡			
計						



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木製建具工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
WD-1 引違いドア	1,820×1,960H 取付、運搬共	2	か所			
WD-2 引分けドア	3,270×2,560H 取付、運搬共	1	か所			
WD-3 引違いドア	1,820×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-4 引違いドア	1,800×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-5 引違いドア	1,900×2,560H 取付、運搬共	3	か所			
WD-6 引違いドア	1,860×2,560H 取付、運搬共	2	か所			
WD-7 引違いドア	1,820×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-8 引違いドア	1,820×2,560H 取付、運搬共	2	か所			
WD-9 両開きドア	1,230×2,594H 取付、運搬共	1	か所			
WD-10 片引きドア	800×1,960H 取付、運搬共	2	か所			
WD-11 片引きドア	900×1,960H 取付、運搬共	2	か所			
WD-12 引違いドア	1,610×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-13 片開きドア	760×2,460H 取付、運搬共	1	か所			
WD-14 両開きドア	790×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-15 片開きドア	700×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-16 片引きドア	750×1,960H 取付、運搬共	2	か所			
WD-17 両開きドア	770×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-18 片引きドア	800×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-19 片引きドア	900×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-19A 引違いドア	1,770×2,460H 取付、運搬共	1	か所			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		木製建具工事（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
WD-19B 片引きドア	900×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-20 片開きドア	820×2,560H 取付、運搬共	1	か所			
WD-21 片引きドア	900×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-22 引違いドア	1,900×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-23 引違いドア	1,720×1,960H 取付、運搬共	2	か所			
WD-24 片引きドア	900×1,960H 取付、運搬共	2	か所			
WD-24A 片引きドア	900×1,960H 取付、運搬共	2	か所			
WD-25 引違いドア	1,835×2,560H 取付、運搬共	1	か所			
WD-25A 引違いドア	1,770×2,560H 取付、運搬共	1	か所			
WD-26 片引きドア	900×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-27 引違いドア	1,820×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-28 片引きドア	900×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-29 片引き(通風)ドア	927×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-29A 片引き(通風)ドア	895×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-29B 片引き(通風)ドア	950×1,960H 取付、運搬共	1	か所			
WD-30 片引き(通風)ドア	910×1,960H 取付、運搬共	4	か所			
WW-1 引違い窓	1,860×1,620H 取付、運搬共	6	か所			
WW-2 引違い窓	1,615×1,020H 取付、運搬共	2	か所			
WW-2A 引違い窓	1,860×1,020H 取付、運搬共	1	か所			
WW-2B 引違い窓	1,500×1,020H 取付、運搬共	1	か所			















一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		内外装工事・外部（こども園）		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外壁 窯業系防火サ イディング*	t=16 横貼 通気金具留め	498	m <sup>2</sup>			
同上 出隅役物		29.9	m			
外壁 窯業系防火サ イディング*	t=16 横貼 通気金具留め 木目調(腰部分)	354	m <sup>2</sup>			
同上 出隅役物	木目調	75.7	m			
透湿防水シート		873	m <sup>2</sup>			
破風・鼻隠し	窯業系不燃押出成形板 t=14 H=150(二段)+塞板 塗装品	310	m			
庇 幕板	窯業系不燃押出成形板 t=14 H=180+120 無塗装品	122	m			
外壁 幕板 (壁見切り)	窯業系不燃押出成形板 t=14 H=120 塗装品 こども園のみ	54.4	m			
外壁 幕板コーナー (壁見切り)	窯業系不燃押出成形板 t=14 H=120 塗装品 こども園のみ	3	か所			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	600	m <sup>2</sup>			
天井有孔けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	86	m <sup>2</sup>			
複合デッキ	30×193 遮熱タイプ 高耐食性亜鉛メッキ鋼製下地共	240	m <sup>2</sup>			
同上 幕板	再生木	115	m			
縁石	100×100 片R 下地モルタル共	47.9	m			
計						



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		内外装工事・内部（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗り床	抗菌剤配合 厚膜型エポキシ樹脂系 ローレストップ工法 t=0.8 こども園のみ	84.3	m <sup>2</sup>			
防塵塗り床	水性型アクリル樹脂系 OA707部 こども園のみ	38.3	m <sup>2</sup>			
複合フローリング張り	t=15（表層単板 t=3）	677	m <sup>2</sup>			
複合フローリング張り	t=15（表層単板 t=2）床暖用 こども園のみ	78.8	m <sup>2</sup>			
複合フロアパネル張り	t=15	82.6	m <sup>2</sup>			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ループパイル 一般事務室用	81.5	m <sup>2</sup>			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	38.3	m <sup>2</sup>			
ビニル床シート （消臭・防滑）	厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法	23.8	m <sup>2</sup>			
ビニル床シート （防滑）	厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法	55.9	m <sup>2</sup>			
ビニル幅木	高さ60	185	m			
畳敷き	建材畳（縁無し） t=55 半畳	55	枚			
畳敷き	建材畳（縁無し） t=55 一畳 こども園のみ	4	枚			
乾式二重床	H=340 パーティクルボード t=20共 こども園のみ	20.2	m <sup>2</sup>			
同上 際根太		25.3	m			
発泡プラスチック系 断熱床下地材	t=50 下地タイル共	992	m <sup>2</sup>			
発泡プラスチック系 断熱床下地材	t=33 和室用 下地タイル共	31.1	m <sup>2</sup>			
壁 せつこうボード 張り（GB-R）	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 延焼の恐れのある部分の天井裏	52.8	m <sup>2</sup>			
壁 せつこうボード 二重張り（GB-R）	厚12.5 不燃 天井裏 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	318	m <sup>2</sup>			
壁 せつこうボード 二重張り（GB-R）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	1,816	m <sup>2</sup>			
壁 せつこうボード 張り（GB-R）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	313	m <sup>2</sup>			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		内外装工事・内部（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	364	m <sup>2</sup>			
壁 シーリング せっこうボード 二重張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-S 厚12.5共	47.4	m <sup>2</sup>			
壁 シーリング せっこうボード 二重張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-S 厚12.5共	25.7	m <sup>2</sup>			
壁 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	32.9	m <sup>2</sup>			
壁 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	190	m <sup>2</sup>			
壁 グラスウールボード	t=25 (96K) 実加工品 化粧不燃ガス仕上 遊戯室 こども園のみ	21	m <sup>2</sup>			
壁 ビニルクロス	表面強化 不燃	1,125	m <sup>2</sup>			
壁 掲示クロス	マグネット兼用	94.5	m <sup>2</sup>			
壁 化粧ケイカル	t=6.0 目透かし アルミジョイナー共	237	m <sup>2</sup>			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノリス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 目透かし -	86.5	m <sup>2</sup>			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノリス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 下地張り (スチルス板下) こども園のみ	1.7	m <sup>2</sup>			
壁 曲面不燃ボード 二重張り	t=6.0+6.0 不燃 丸柱	5.1	m <sup>2</sup>			
下がり壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	7.9	m <sup>2</sup>			
下がり壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	207	m <sup>2</sup>			
壁 吸放湿化粧 せっこうボード	t=12.5 木目柄 こども園のみ	46	m <sup>2</sup>			
天井 吸放湿化粧 せっこうボード	t=9.5 木目柄 こども園のみ	7.9	m <sup>2</sup>			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチ 突付け	132	m <sup>2</sup>			
天井 化粧 せっこう吸音 ボード張り	厚 9.5 不燃 スエア 突付け こども園のみ	311	m <sup>2</sup>			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノリス)0.8FK 厚 6 目透かし こども園のみ	85.6	m <sup>2</sup>			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-R 厚9.5共	599	m <sup>2</sup>			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		内外装工事・内部（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 継目処理	39.4	m <sup>2</sup>			
天井 ビニルクロス	表面強化	10.4	m <sup>2</sup>			
天井廻縁	塩化ビニル製 目透かし	953	m			
天井アルミハスリア	防湿シート、廻縁共	1.5	m <sup>2</sup>			
面台	ポ ストフォーム t=20 W=120 マリニ化粧板	34.3	m			
カウンター	ポ ストフォーム t=32 W=300 マリニ化粧板 L=1,400 調理室 こども園のみ	1	か所			
カウンター	ポ ストフォーム t=32 W=500 マリニ化粧板 L=1,050 調理室 こども園のみ	2	か所			
棚板	ポ ストフォーム t=32 W=900 マリニ化粧板 配膳車スペース こども園のみ	4.5	m			
飾り棚	ポ ストフォーム t=20 W=300 マリニ化粧板 男子トイレ こども園のみ	1	か所			
天板	しな合板フラッシュ t=30 W=500 べた芯 遊戯室 こども園のみ	12	m			
照明ボックス樹脂板	透光性と風裝飾樹脂板 t=5.0 絵本コーナー こども園のみ	5.6	m <sup>2</sup>			
天井ガラスケール	t=100 (24K)	1,387	m <sup>2</sup>			
外壁ガラスケール	t=100 (24K)	1,018	m <sup>2</sup>			
発泡ウレタン (材工価格)	壁面厚25	68.3	m <sup>2</sup>			
ロックウール吹付け (材工価格)	原色 厚15 テッキ裏 こども園のみ	375	m <sup>2</sup>			
計						



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		内外装工事・内部（支援センター）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
複合フローリング張り	t=15（表層単板 t=3）	58.6	m <sup>2</sup>			
複合フローパネル張り	t=15	12	m <sup>2</sup>			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ループパイル 一般事務室用	12.1	m <sup>2</sup>			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	5	m <sup>2</sup>			
ビニル床シート （消臭・防滑）	厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法	8.3	m <sup>2</sup>			
ビニル幅木	高さ60	48.6	m			
畳敷き	建材畳（縁無し） t=55 半畳	18	枚			
発泡プラスチック系 断熱床下地材	t=50 下地タタキ共	101	m <sup>2</sup>			
発泡プラスチック系 断熱床下地材	t=33 和室用 下地タタキ共	14.6	m <sup>2</sup>			
壁 せっこうボード 二重張り（GB-R）	厚12.5 不燃 天井裏 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	234	m <sup>2</sup>			
壁 せっこうボード 二重張り（GB-R）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	84.8	m <sup>2</sup>			
壁 せっこうボード 張り（GB-R）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	89.8	m <sup>2</sup>			
壁 せっこうボード 張り（GB-R）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	64.4	m <sup>2</sup>			
壁 シーズンク せっこうボード 二重張り（GB-S）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-S 厚12.5共	26	m <sup>2</sup>			
壁 シーズンク せっこうボード 張り（GB-S）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	21	m <sup>2</sup>			
壁 シーズンク せっこうボード 張り（GB-S）	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	9	m <sup>2</sup>			
壁 ビニルクロス	表面強化 不燃	120	m <sup>2</sup>			
壁 掲示クロス	マグネット兼用	26.7	m <sup>2</sup>			
壁 化粧ケイカル	t=6.0 目透かし 7ルミジョイナー共	46.6	m <sup>2</sup>			
天井 化粧 せっこうボード 張り（GB-D）	厚 9.5 準不燃 トラパーチン 突付け	10.4	m <sup>2</sup>			







一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		ユニット及びその他工事・内部（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
受付カウンター	珪練付け合板 t30 R加工 ポリウレタン塗装 1,620×490 受金物共	1	か所			
流し台	BL型 幅1800 給湯室	1	台			
吊戸棚	幅1200 高700 給湯室	1	台			
吊戸棚	幅 600 高700 給湯室	1	台			
水切棚	ステンレス製 900(2段) 給湯室	1	台			
ミニキッチン	幅1200 職員休憩室 フルユニット 扉タイプ コンロなし シングルバー水栓	1	台			
流し台	BL型 幅1800 調乳室	1	台			
吊戸棚	幅1200 高700 調乳室	1	台			
吊戸棚	幅 600 高700 調乳室	1	台			
水切棚	ステンレス製 900(2段) 調乳室	1	台			
ディンプルカーテン	1.5倍ヒタ 引き分け 縫製、運搬、取付共	17	m <sup>2</sup>			
カーテンレール	ステンレス製 手引き 引分け 軽量用(10-60)	89.7	m			
高所用カーテンレール	チェーン操作式 シングル L=3m程度 H=4~5m	10	か所			
ロフト用クランプ	H=2,580 アルミ製 遊戯室倉庫 こども園のみ	1	か所			
室名札(イ) 持出型	木製 260×210H 立体絵柄	11	か所			
室名札(イ) 平付型	木製 260×210H 立体絵柄	3	か所			
室名札(ロ) 持出型	アクリル製 200×200H 木製フレーム カッティングシート貼共	1	か所			
室名札(ロ) 平付型	アクリル製 200×200H 木製フレーム カッティングシート貼共	9	か所			
カッティングシート切り文字	H=40	15	室			
車いすトイレ、 オストメイト表示	ガラス面 カッティングシート 200角	2	枚			





一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		ユニット及びその他工事・家具（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
K-1 収納棚	遊戯室 取付、運搬共	1	か所			
K-2 収納棚	5歳児、4歳児保育室 取付、運搬共	2	か所			
K-3 ロッカー棚	5歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-3A ロッカー棚	4歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-4 ロッカー棚	3歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-4A ロッカー棚	3歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-6 ロッカー棚	2歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-7 ロッカー棚	1歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-8 収納棚	1歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-9 収納棚	0歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-10 収納棚	0歳児保育室 取付、運搬共	1	か所			
K-11 作業台	調乳室 取付、運搬共	1	か所			
K-13 吊戸棚	沐浴・洗濯室(便器上部) 取付、運搬共	1	か所			
K-14 吊戸棚	沐浴・洗濯室(洗濯機上部) 取付、運搬共	1	か所			
K-15 吊戸棚	こどもトイレ1(手洗い上部) 取付、運搬共	1	か所			
K-17A 手洗いシンク	廊下3 取付、運搬共	1	か所			
K-17B 手洗いシンク	廊下3 取付、運搬共	1	か所			
K-17C 手洗いシンク	こどもトイレ2 取付、運搬共	2	か所			
K-17D 吊戸棚	こどもトイレ2(シャワー上部) 取付、運搬共	1	か所			
K-18 吊戸棚	洗濯・乾燥室(洗濯機上部) 取付、運搬共	1	か所			



一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		本体棟		ユニット及びその他工事・家具（こども園）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
K-20 下足入	職員玄関 取付、運搬共	1	か所			
K-21 収納棚	廊下1 取付、運搬共	1	か所			
K-22 書架	絵本コーナー 取付、運搬共	1	か所			
K-23 書架	絵本コーナー 取付、運搬共	1	か所			
K-24A 収納棚	職員室 取付、運搬共	1	か所			
K-24B 収納棚	職員室 取付、運搬共	1	か所			
K-24C 嵩上げ台	沐浴・洗濯室(沐浴槽台) 取付、運搬共	1	か所			
K-25 収納棚	職員室 取付、運搬共	1	か所			
K-26 収納棚	エントランスホール 取付、運搬共	1	か所			
K-28 下足入(来客用)	玄関 取付、運搬共	1	か所			
K-29A 下足入(園児用)	玄関 取付、運搬共	1	か所			
K-29B 下足入(園児用)	玄関 取付、運搬共	1	か所			
K-30 ベン デン	取付、運搬共	1	か所			
計						





















一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		外倉庫棟		屋根及びびとい工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根 立平葺き	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 庇共 H=30内外 @360内外	38.5	m <sup>2</sup>			
コムアシート	t=1.2	38.5	m <sup>2</sup>			
構造用合板	t=12	38.5	m <sup>2</sup>			
唐草水切り	屋根同材	13.4	m			
ケラハ 水切り	屋根同材	10.8	m			
雨押え	屋根同材 取付下地共 W=150	3.8	m			
棟包み	屋根同材 取付下地共 W=150 水上部	6.7	m			
棟面戸	屋根同材加工	10.5	m			
荷揚げ費	運搬共	1	式			
土台水切	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 加工	14.3	m			
雪止	L-50×50×4 亜鉛メッキ ステンレス取付金具(@360内外)共	14.3	m			
軒樋	硬質塩化ビニール既製角樋 前高120 ステンレス吊金具(@300)共	6.7	m			
縦樋	硬質塩化ビニール既製樋 φ65 ステンレス掴み金物(@1200)共	3.3	m			
計						































一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		駐輪・駐車場棟		屋根及びびとい工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根 立平葺き	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.4 H=30内外 @360内外	59.5	m <sup>2</sup>			
ゴムアシート	t=1.2	59.5	m <sup>2</sup>			
耐火野地板	t=20	59.5	m <sup>2</sup>			
耐火野地板	t=20 箱種部 ゴムアシート共	13.3	m <sup>2</sup>			
唐草水切り	屋根同材	19.2	m			
ケラバ水切り	屋根同材	12.4	m			
棟包み	屋根同材 取付下地共 W=300~360	9.6	m			
妻壁 立平貼	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 H=30内外 @360内外	4.5	m <sup>2</sup>			
透湿防水シート		4.5	m <sup>2</sup>			
荷揚げ費	運搬共	1	式			
土台水切	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 加工	11.9	m			
幕板上水切	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 加工	12	m			
庇笠木	フッ素カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 加工 W=100 裏張ケイカ6.0mm	19	m			
庇箱樋	複合塩化ビニールシート t=1.5 ドレン共	19	m			
雪止	L=50×50×4 亜鉛メッキ ステンレス取付金具(@360内外)共	19	m			
堅樋	硬質塩化ビニール既製樋 φ65 ステンレス掴み金物(@1200)共	6	m			
計						

































































































一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		外構		構内舗装（一般工事）		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
すきとり	積み込み共 H300程度	64.9	m3			
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度 暗渠排水等	43.7	m3			
盛土埋戻し(B種)	発生土転用	250	m3			
盛土(A種)	山砂の類（ふるい真砂） 園庭（小山共）	272	m3			
敷きならし	発生土 締め固め共	38.2	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
車止めブロック	L=600 アンカ固定	36	個			
縁石	180×230 両R 基礎コン、再生クラッシュラン	32	m			
防草シート敷き	透水性 エン固定	129	m <sup>2</sup>			
砂利地業		7.7	m3			
コンクリート舗装	歩道C-7=10 特に狭い場所 人力 路盤材共 再生クラッシュラン	7	m <sup>2</sup>			
枠ガード	リサイクルコンクリート成形品	32.8	m			
枠ガードコーナー	リサイクルコンクリート成形品	4	か所			
砂場枠	現場打コンクリート 5,900×2,500 砕石共	1	式			
砂場用砂	洗い砂	4.2	m3			
砂利地業	クラッシュラン 砂場下部	2.3	m3			
透水シート	ポリエステル系不織布 t=10	14.2	m <sup>2</sup>			
排水管	VP 径75	1	m			
暗渠排水管	フレキシブル透水管150φ	75	m			
暗渠排水管	フレキシブル透水管100φ	100	m			

一般工事（鉄骨工事・木工事除く）		外構		構内舗装（一般工事）		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
砂利地業	クラッシュ 暗渠排水管廻り	48.7	m <sup>3</sup>			
雨水浸透柵	ポリプロピレンφ300φ 透水シート t=3共	8	か所			
砂利地業	クラッシュ 浸透柵廻り	1.6	m <sup>3</sup>			
雨水柵	現場打コンクリート 柵幅400角 底モルタル、砕石共	4	か所			
雨水柵蓋	亜鉛めっきグレーチング 蓋 細目 ノスリップ T-14 柵幅400角	1	か所			
雨水柵蓋	亜鉛めっきグレーチング 蓋 細目 ノスリップ T-25 柵幅400角	3	か所			
車いす専用 駐車標識	基礎除く	1	か所			
車いす専用 駐車標識基礎	砕石共	1	か所			
看板	基礎除く	2	か所			
看板基礎		2	か所			
縁石	150×150 捨コン、再生クラッシュ 敷地境界	147	m			
計						



一般工事 (鉄骨工事)		本体棟		鋼材費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
H形鋼	SN490B H-300×150×6.5×9	1.3	t			
H形鋼	SS400 H-148×100×6×9	0.9	t			
H形鋼	SS400 H-150×150×7×10	2.7	t			
H形鋼	SS400 H-194×150×6×9	0.3	t			
H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	3.9	t			
H形鋼	SS400 H-244×175×7×11	1.2	t			
H形鋼	SS400 H-248×124×5×8	3	t			
H形鋼	SS400 H-250×125×6×9	2.7	t			
H形鋼	SS400 H-250×250×9×14	3.6	t			
H形鋼	SS400 H-294×200×8×12	5.3	t			
H形鋼	SS400 H-298×149×5.5×8	4.5	t			
H形鋼	SS400 H-300×150×6.5×9	3.2	t			
H形鋼	SS400 H-346×174×6×9	6.3	t			
H形鋼	SS400 H-350×175×7×11	8.9	t			
H形鋼	SS400 H-396×199×7×11	6	t			
H形鋼	SS400 H-400×200×8×13	19.9	t			
H形鋼	SS400 H-446×199×8×12	1.7	t			
H形鋼	SS400 H-500×200×10×16	4.1	t			
B H	SN400B H-150×150×6×9	0.1	t			
B H	SN400B H-200-250×125×6×9	0.04	t			



一般工事 (鉄骨工事)		本体棟		鋼材費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
BH	SN400B H-200×125×6×9	0.4	t			
BH	SN400B H-200-150×150×6×9	0.2	t			
BH	SN400B H-250-200×125×6×9	0.5	t			
BH	SN400B H-250×175×9×12	0.6	t			
角形鋼管	BCR295 □-250×250×12	10	t			
角形鋼管	BCR295 □-300×300×12	7.9	t			
角形鋼管	BCR295 □-300×300×16	1.7	t			
鋼管	STK400 STK-216.3×8.2	0.3	t			
鋼管	STK400 STK-267.4×9.3	1.1	t			
鋼管	STK400 STK-318.5×12.7	1.5	t			
溝形鋼	SS400 [-100×50×5×7.5	2.2	t			
溝形鋼	SS400 [-125×65×6×8	4.1	t			
溝形鋼	SS400 [-150×75×6.5×10	5.7	t			
溝形鋼	SS400 [-180×75×7×10.5	0.7	t			
平鋼	SN490B FB-9×25	0.8	t			
鋼板	TMCP325 PL-50	0.04	t			
鋼板	SN490C PL-16	0.3	t			
鋼板	SN490C PL-19	0.2	t			
鋼板	SN490C PL-22	0.7	t			
鋼板	SN490C PL-25	0.02	t			

一般工事 (鉄骨工事)		本体棟		鋼材費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼板	SN490C PL-32	0.2	t			
鋼板	SN490C PL-36	0.1	t			
鋼板	SN490C PL-40	0.03	t			
鋼板	SN490B PL-6	0.03	t			
鋼板	SN490B PL-9	0.1	t			
鋼板	SN490B PL-12	0.01	t			
鋼板	SN490B PL-16	0.1	t			
鋼板	SN400B PL-6	0.1	t			
鋼板	SN400B PL-9	0.1	t			
鋼板	SN400B PL-12	0.2	t			
鋼板	SS400 PL-4.5	0.1	t			
鋼板	SS400 PL-6	2.6	t			
鋼板	SS400 PL-9	15.2	t			
鋼板	SS400 PL-12	1	t			
鋼板	SS400 PL-16	0.3	t			
鉄骨スクラップ 控除		4.3	t			
ファブ ラックス	DS30	0.2	t			
NDコア	SN490B ND250	2.9	t			
NDコア	SN490B ND300	2.7	t			
高力ボルト	S10T HTB-M16×40	0.5	t			

一般工事 (鉄骨工事)		本体棟		鋼材費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高力ボルト	S10T HTB-M16×45	0.3	t			
高力ボルト	S10T HTB-M16×50	0.02	t			
高力ボルト	S10T HTB-M16×55	0.03	t			
高力ボルト	S10T HTB-M20×45	0.4	t			
高力ボルト	S10T HTB-M20×50	0.2	t			
高力ボルト	S10T HTB-M20×55	0.3	t			
高力ボルト	S10T HTB-M20×60	1.5	t			
高力ボルト	S10T HTB-M20×65	0.1	t			
高力ボルト	S10T HTB-M20×70	0.1	t			
アンカーボルト	SS400 ABT-M16	0.01	t			
アンカーボルト	SS400 ABT-M20	0.05	t			
ブレース	M16	3.3	t			
ブレース平鋼	FB-6×52	0.6	t			
ターンバックル		0.7	t			
計						



一般工事 (鉄骨工事)		本体棟		付帯工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
柱脚工事	□-300×16 材工共	3	台			
柱脚工事	□-300×12 材工共	14	台			
柱脚工事	□-250×12 材工共	24	台			
柱脚工事	○-318.5 材工共	4	台			
柱脚工事	○-267.4 材工共	6	台			
柱脚工事	○-216.3 材工共	1	台			
アンカーセット	間柱	7	か所			
デッキ	QL99-50-12 材工共 こども園のみ	275	m <sup>2</sup>			
コンクリート止め	PL-1.6 小口ふさぎ共 こども園のみ	146	m			
母屋	材工共	20.5	t			
庇母屋	材工共	2.9	t			
箱樋下地	材工共	2.1	t			
天井吊り下地	材工共	9.2	t			
胴縁	材工共	28.6	t			
天井吊りブレース	M12 材工共	90	本			
根太	材工共	0.6	t			
スライディングウォール下地	材工共 こども園のみ	0.3	t			
トップライト取付下地	材工共	2	か所			
メッキ費		1.1	t			
社内検査費		148	t			



一般工事 (鉄骨工事)		本体棟	安全架設費			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ネットフック取付	RB-9	2,950	か所			
安全ネット張り (水平張り) 本体棟		1,928	m <sup>2</sup>			
安全ネット改造費		816	m <sup>2</sup>			
親網ロープ		1,810	m			
親網緊張器		235	台			
親網支持ハルト		28	台			
親網支柱		357	本			
仮設材運搬費		4	回			
昇降用ステップヒース 取付	柱部 @500	575	か所			
同上 架払い手間	柱部 @500	575	か所			
安全ブロック	材リース料	30	台			
安全ブロック	架払い手間	46	台			
高所作業車等	クローラーブーム式12m	2	台			
同上 回送費		4	回			
計						

一般工事 (鉄骨工事)		駐輪・駐車場棟		鋼材費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
H形鋼	SS400 H-194×150×6×9	0.5	t			
H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	0.6	t			
角形鋼管	BCR295 □-200×200×6	0.2	t			
鋼管	STK400 STK-216.3×8.2	0.5	t			
溝形鋼	SS400 [-100×50×5×7.5	0.1	t			
平鋼	SN490B FB-9×25	0.05	t			
鋼板	SN490C PL-16	0.1	t			
鋼板	SN490C PL-19	0.03	t			
鋼板	SN490C PL-25	0.1	t			
鋼板	SS400 PL-6	0.1	t			
鋼板	SS400 PL-9	0.1	t			
鋼板	SS400 PL-12	0.1	t			
アンカーボルト	SS400 ABT-M20	0.05	t			
ブレース	M16	0.04	t			
ブレース平鋼	FB-6×52	0.01	t			
ターンバックル		0.01	t			
高力ボルト	S10T HTB-M16×40	0.01	t			
高力ボルト	S10T HTB-M16×45	0.05	t			
高力ボルト	S10T HTB-M16×50	0.01	t			
高力ボルト	S10T HTB-M16×60	0.04	t			











一般工事（木工事）		本体棟		材料費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土台	桧（特1等）105×105 防腐剤注入	2.9	m3			
土台	桧（特1等）50×105 防腐剤注入	0.2	m3			
通し柱	杉（特1等）105×105 こども圍のみ	0.7	m3			
通し柱	杉（上小節）105×105 こども圍のみ	0.1	m3			
管柱	杉（特1等）105×105	6.5	m3			
管柱	杉（上小節）105×105	0.9	m3			
火打梁	杉（特1等）105×105	1.4	m3			
梁	杉（特1等）105×105	0.1	m3			
梁	杉（特1等）105×150	7	m3			
化粧梁	杉（特1等）105×150 スプレーナー仕上	0.2	m3			
梁	杉（特1等）105×180	0.3	m3			
化粧梁	杉（特1等）105×180 スプレーナー仕上	0.9	m3			
梁	杉（特1等）105×300	0.2	m3			
梁	杉（特1等）105×360	0.1	m3			
筋違い	杉（1等）30×105	0.1	m3			
間柱	杉（1等）30×105	6.6	m3			
根太	杉（特1等）60×60	0.7	m3			
土台パッキン	20×100×200	580	個			
アンカーボルト	M12 L=450	245	本			
計						



一般工事 (木工事)		外倉庫棟		材料費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土台	桧 (特1等) 105×105 防腐剤注入	0.2	m3			
通し柱	杉 (特1等) 105×105	0.1	m3			
管柱	杉 (特1等) 105×105	0.4	m3			
火打梁	杉 (特1等) 105×105	0.1	m3			
梁	杉 (特1等) 105×150	0.4	m3			
梁	杉 (特1等) 105×270	0.1	m3			
間柱	杉 (1等) 30×105	0.5	m3			
小屋束	杉 (特1等) 105×105	0.1	m3			
母屋	杉 (特1等) 105×105	0.3	m3			
垂木	杉 (特1等) 45×60	0.3	m3			
小屋筋違い	杉 (1等) 15×90	0.1	m3			
土台パッキン	20×100×200	34	個			
アンカーボルト	M12 L=450	20	本			
計						











## 1 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適性化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。
- (5) 共同企業体が工事を請け負う場合、構成員による下請けは行わないこと。

## 2 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、鳥取県が定める「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
  - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
  - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。
- (5) 工事に使用する資材については、極力有害性VOC（揮発性有機化学物質）発生量の少ないものとするよう努めること。

## 3 工事の安全確保について

- (1) この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。
- (2) 労働安全衛生法第59条、第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事着手後、作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当てて、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施するものとし、施工計画書に実施項目について記載するものとする。

(3) この契約に係る工事の施工中に事故が発生した場合は、事故報告書（米子市建築工事等事故関係事務処理マニュアルに定める様式）を提出すると共に、建設工事事務データベースの「事故報告書」についても速やかに提出するものとする。

#### 4 建設機械の使用について

- (1) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場の快適性を高めるため、排出ガス対策型建設機械の使用に努めること。

#### 5 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年法律第131号）の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

#### 6 ダンプトラック等、による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当って、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

#### 7 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

#### 8 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入並びに証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
- (4) 請負業者は、建退共の発注者用の掛金収納書を原則として契約締結後 1 ヶ月以内に提出しなければならない。

## 9 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第 26 条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1 級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第 40 条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

## 10 労働基準法等の遵守

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週 40 時間を遵守すること。

## 11 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 鳥取県暴力団排除条例（平成 23 年 3 月鳥取県条例第 3 号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行わないこと。
- (2) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (3) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

## 12 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

## 13 現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3 か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と

所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者の有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

#### 14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

#### 15 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成 25 年法律第 41 号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

#### 16 契約方式について

本工事は総価契約方式を採用しており、設計図書に示された条件などに変更がある場合は契約を変更することができる。契約変更を行う場合には、変更設計額に当初の契約の請負比率を乗じ、変更請負代金額を算出する。

#### 17 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) 本来一体とすべき同一敷地内又は同一敷地内（隣接した敷地を含む）の工事を分割して発注し、新規に発注する工事（以下、「後工事」という。）を現に施工中の工事の受注者と随意契約しようとする場合の共通仮設費は、契約済みの全ての工事（以下「前工事」という。）と後工事を一括して発注したとして算出した共通仮設費の額から、前工事の共通仮設費の額を控除した額とする。なお、後工事が複数ある場合は、その合算工事費を対象とする。
- (3) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (4) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (5) 特定フロンの使用の削減に努めること。
- (6) 労務費については、法定労働時間週 40 時間を考慮したものとしている。
- (7) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。
- (8) 工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底について（令和 3 年 1 月 13 日付契起第 9 4 3 号－1 米子市総務部長通知）に基づき、追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

特記事項 [施工条件明示事項]

※ 番号、・に□印のあるものについて適用する。

明示項目	明示事項	条件
<p>1 工 程</p>	<p>1. 他工事との調整</p> <p>2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限</p> <p>3. 関係機関等との協議</p> <p>4. 工事の指定部分</p> <p>5. 地下埋設物等の調査</p> <p>地下埋設物の移設が予定されている場合。</p>	<p>工事名 <u>淀江・宇田川統合園用地造成工事</u>  <u>淀江・宇田川こども園（仮称）新築機械設備工事</u>  <u>淀江・宇田川こども園（仮称）新築電気設備工事</u></p> <p>上記工事との連絡及び工程の調整を図ること。</p> <p>制限される工事 <input checked="" type="checkbox"/> 全般</p> <p>制限の内容 <u>周辺施設の運営に支障のないよう協力すること。</u></p> <p>本工事において、関係法令上必要であれば、関係機関と協議を行うこと。</p> <p>令和 年 月 日までに完成させること。</p> <p>工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気通信・ガス・その他）〕について調査済みである。                  事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道下水道・電気・通信・ガス・その他）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。                  その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>移設期間 _____</p>
<p>2 用 地</p>	<p>1. 工事用車輛の駐車場</p>	<p>・駐車場がないため確保する必要がある。                  ・敷地内に一部確保できる。  <input checked="" type="checkbox"/> 原則として敷地内で確保するものとするが、不足を生じる場合には、別途確保すること。</p>
<p>3 公 害 対 策</p>	<p>1. 施工方法、機械施設、作業時間等の制限</p> <p>2. 工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合。</p>	<p>内 容 <u>関係法令を遵守すること。</u></p> <p>・近隣家屋等の ・事前事後の状況の写真を付して記録し ・事後（ ）の調査を行い、万全を期して施工すること。                  ・工事概要について住民説明を行うこと。                  ・近隣住民からテレビ受信障害及び工事に伴う損害が報告された場合、直ちに監督員等に連絡すると共に、市が行う対応等に協力すること。</p>
<p>4 安 全 対 策</p>	<p>1. 交通安全施設等の指定</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。                  交通誘導員A _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日                  工事全体合計 _____人・日                  交通誘導員B 30人 交替要員 0人 1日あたり合計 1人 配置日数 30日                  工事全体合計 30 人・日</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。                  交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。                  なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>



明示項目	明 示 事 項	条 件
<p>5 工 事 用 道 路</p>	<p>1. 一般道路を搬入路として使用する場合。                      ・(7) 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等に制限がある場合。                      ・(4) 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である場合。                      2. 仮道路を設置する場合</p>	<p>・運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対し損傷を与えないよう予防措置を講じ、また損傷を与えた場合は、速やかに原形に復すこと。                      ・制限の内容                      _____                      ・処置の内容                      _____                      ・幅員 _____ m ・延長 _____ m ・切込砕石 厚 _____ cm ・その他                      ・工事終了後の処置                      _____</p>
<p>6 仮 設 備</p>	<p>1. 仮囲い等の範囲、構造</p>	<p>・工事範囲をバリケード等により明確にすること。                      ・敷地周囲に仮囲いを設置し、その施工範囲、仕様等は図示による。                      ・山留めは _____ 工法とし、その施工条件は図示による。                      ・各工事共通の揚重機械として _____ を設置しその施工条件は図示による。                      ・敷地周辺の _____ 部分を鉄板敷きにより養生し、その施工範囲、仕様等は図示による。                      ・その他労働安全衛生法に基づく仮設備</p>
<p>7 建 設 副 産 物 の 処 理</p>	<p>1. 建設発生土の処理                      ・(ア)他工事等流用                      ・(イ)建設技術センター                      ・(ウ)民間残土受入地                      2. 分別解体等                      3. 再資源化施設への搬出                      (施設の名称・受入れ費用)                      (受入れ時間帯)                      (受入れ条件)                      4. 最終処理等                      5. 産業廃棄物処理                      6. 産業廃棄物の処理に係る税</p>	<p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ 工事現場に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。                      建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内のセンター事業所に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。                      なお、処理費として1 m<sup>3</sup>当り _____ 円をセンターに支払うこと。                      建設発生土は 伯耆 市・町・村 二部 地内の 美保テクノス(株)二部建設発生土受入場 に運搬 (片道運搬距離 27.1km) するものとする。なお、処理費として1 m<sup>3</sup>当り1,200 (税別)円を 美保テクノス(株) に支払うこと。                      民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300KN/m<sup>2</sup>以上)                      コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を見込んでいる。                      コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。                      再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。                      なお、再資源化施設への搬出が完了したときは、書面により報告すること。                      コンクリート塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1 t 当たり _____ 円                      アスファルト塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1 t 当たり _____ 円                      建設発生木材 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1 t 当たり _____ 円                      その他( ) _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1 t 当たり _____ 円                      8時～17時(平日)                      ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。                      イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。                      ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm以下、長さ _____ m以下であること。                      エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。                      _____ については、 _____ 市・町・村 _____ 地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離 _____ km)を想定し、その費用として1 t 当り _____ 円を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。                      産業廃棄物処理業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。                      建設工事等から生じる廃棄物の処理については、関係法令を遵守すること。                      産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、1 t あたり 1,000 円見込んでいる。</p>

明示項目	明 示 事 項	条 件
建設副産物の使用	<p>⑧ 1. 建設発生土の使用</p> <p>② 再生資源の使用</p>	<p>_____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受け、<u>使用箇所</u>：_____ に使用する。</p> <p>ア Co雑材は、_____ 工事から運搬し、<u>使用箇所</u>：_____ に使用する。</p> <p>イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____ 工事から運搬し、<u>使用箇所</u>：_____ に使用する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシャーラン〔規格：Rcc40〕は、<u>使用箇所</u>： <u>図示箇所</u> に使用する。</p> <p>・再生コンクリート砂〔規格：_____〕は、<u>使用箇所</u>：_____ に使用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 再生加熱アスファルト混合物〔規格：13〕は、<u>使用箇所</u>： <u>図示箇所</u> に使用する。</p> <p>オ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、<u>使用箇所</u>：_____ に使用する。</p>
9 支障物件	<p>1. 地上、地下等に占有物件等の工事支障物件が存在する場合。</p>	<p>移設・撤去 防護等の方法 _____ _____ _____</p>
10 濁処水理	<p>1. 排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合</p>	<p>工法 処理の方法 放流先</p>
その他	<p>⑪ ①. 工事実績情報の登録</p> <p>2. 支給材料及び貸与品がある場合</p> <p>3. 工事事業電力等を指定する場合</p> <p>④. 景観への配慮</p> <p>⑤. その他</p>	<p>工事請負代金額500万円以上の工事について、受注時は工事契約後10日以内に、登録内容の変更（技術者の配置変更、工期の変更）時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員に確認を受けた後、（一財）日本建設情報総合センターにインターネット等により登録するとともに、同センター発行の「登録内容確認書」を監督員に提出するものとする。</p> <p>品 名 _____ 数 量 _____ 品質、規格又は性能 _____ 引渡場所 _____ 引渡時期 _____</p> <p>内 容 _____</p> <p>ア 本工事は、景観法に基づく通知対象行為である。 イ 通知対象行為の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の施工に際し、住民説明会を開催する予定であるので協力すること。</li> <li>・近隣住民等に対し安全及び騒音振動対策を十分に講ずること。</li> <li>・契約図書の作成は、落札者において行うこと。</li> <li>・アルミニウム製建具の製造所は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価名簿に記載されている製造所とすること。</li> <li>・当該営繕工事の予定価格は、材料及び労務単価を見直した令和2年度営繕工事設計標準単価（令和2年10月改訂版）により算出しております。</li> <li>・試運転に伴う本受電後の電力基本料金及び電気工作物保安管理費は、落札者において負担すること。</li> <li>・本工事に於いて適用する標準仕様書などの各基準について、改定により最新版が存在する場合は、監督員と協議を行い施工すること。</li> <li>・交通誘導員の単価については、警備業法に規定する警備員を配置するものとして、国土交通省による公共工事設計労務単価に警備会社が必要とする諸経費を含む費用を見込んでいます。なお、直接的及び恒常的な雇用関係にある自社の従業員で対応する場合は監督員と協議を行うこと。（単価は公共工事の積算に用いるものであり、下請契約に係る労務単価や雇用関係による労働者への支払い賃金を拘束するものではない。）</li> <li>・外構工事の芝の単価は、ポット苗5,000個、肥料3袋及び運搬費を見込んでおり、施工費は本工事に含んでいない。</li> </ul>

## 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

### 1 目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。

### 2 感染拡大防止に向けた取組

#### (1) 現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

- ① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。
- ② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などでの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「3つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。
- ③ 作業従事者（下請事業者含む）が、緊急事態宣言が出された地域から新たに転入（通勤者を除く）した場合は、14日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛すること。ただし、転入前にPCR検査を受診し陰性であることが確認出来た場合には、その結果を事前に監督員等に報告したうえで、14日間の外出自粛は不要とする。なお、このPCR検査に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

#### (2) 県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

#### (3) 工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは次のとおりとする。

##### ① 書類の提出について

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。

受取、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 発注者又は受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督職員と協議を行うこと。

##### ② 受発注者間の打合せ

ア 打合せは、事前に電子メールなどにより打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

- ・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・打合せ等に参加した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

### 3 感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書(又は変更業務計画書)を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

### 4 感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、次のとおり対応すること。

#### (1) 工事等の関係者がPCR検査を受けた場合(検査結果が判明するまでの対応)

① 該当者が受注者側(現場代理人、主任技術者、監理技術者、照査技術者、担当技術者及び作業員(下請けを含む))の場合

ア 受注者は、速やかに発注者に報告する。

イ 発注者は、必要な安全対策を実施した上で即座に現場作業を停止させるとともに、全ての作業員を自宅待機とするよう受注者に要請する。(工事の場合)

② 該当者が発注者側(各監督員、調査職員及び監督補助員)の場合

ア 発注者は、速やかに受注者に連絡するとともに、該当者との濃厚接触者について自宅待機とするよう要請する。

イ 受注者は、濃厚接触者の有無について確認し、発注者に報告する。

#### (2) 工事等の関係者がPCR検査で陽性と確認された場合

① 該当者が受注者側の場合

ア 工事等を一時中止する。(中止期間は受発注者協議の上決定)

② 該当者が発注者側の場合

ア 受発注者で協議し、必要に応じて工事等を一時中止とする。(中止期間は受発注者協議の上決定)

### 5 新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長(以下「一時中止等」という。)の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

### 6 下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

# 3つの密を 避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、**「3つの密(密閉・密集・密接)」**を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り**「ゼロ密」**を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

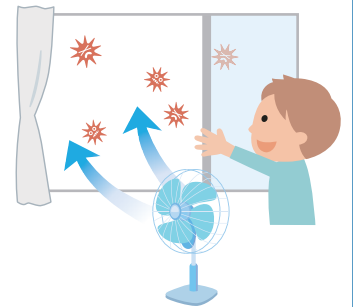


# ①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を!

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

## 窓がある場合

- ・ 風の流れることができるよう、**2方向の窓を、1回、数分間程度、全開**にしましょう。換気回数は**毎時2回以上**確保しましょう。
- ・ 窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。



## 機械換気がある場合

- ・ 窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。  
注)ビル管理法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量(毎時約30m<sup>3</sup>)を確保するよう努めなければなりません。
- ・ したがって、地下や窓のない高所の施設であっても、換気設備(業務用エアコン等)によって換気されていることが通常のため、過剰に心配することはありません。
- ・ しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- ・ 通常の家用的エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確保してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気量が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

## 乗り物の場合

- ・ 乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく「**外気モード**」にしましょう。
- ・ 電車やバス等の公共交通機関でも、**窓開け**に協力しましょう。



## ②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう!

• 他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離（2メートル以上）を取りましょう。

• スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないように注意しましょう。

• 飲食店の座席では、隣の人と一つ飛ばしに座ると、距離を確保しやすいです。

また、真向かいに座らず、互い違いに座るのも有効です。

店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。

• エレベーターでは、多くの人が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。

• 職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html#hatarakukata](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata)



### ③ 「密接」した会話や発声は、避けましょう!

- 密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHOは「5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ(約3,000個)が飛ぶ」と報告しています。
- 対面での会議や面談が避けられない場合には、**十分な距離を保ち**、マスクを着用しましょう。
- エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。**会話や、携帯電話による通話を慎みましょう**。
- 飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない催しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。  
注)「多人数」とは10人以上を想定していますが、なるべく少ない方が良いです。
- スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。
- 喫煙も、近くにいる人との「密」に、ことのほか注意して下さい。

